

ぎかいの話題

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(徳永春男委員長、古庄和秀副委員長)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月11日か

ら18日までの実質6日間で審査を行いました。

学童保育にすることなど、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

審査の結果、64項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書をまとめ、3月23日の本会議ですべての予算議案及び条例議案等を可決しました。

平成27年度各会計予算の概要（1万円未満四捨五入）

区 分		予 算 額	対前年度当初比
一般会計		554億9,000万円	△ 0.7 %
特 別 会 計	国民健康保険	185億4,535万円	10.2 %
	介護保険	129億3,887万円	△ 1.6 %
	後期高齢者医療	21億7,808万円	3.8 %
	病院事業債管理	17億8,286万円	22.1 %
	水道事業	※1 40億7,383万円	△ 1.8 %
	公共下水道事業	※2 64億9,351万円	1.5 %

※1 収益的支出
28億 433万円
資本的支出
12億6,950万円
※2 収益的支出
32億6,602万円
資本的支出
32億2,749万円

予算特別委員会の主な意見・要望

■学童保育所の整備

学童保育所の整備については、待機児童の発生、潜在的な希望者の増加に鑑み、どの校区でも6年生までの希望者全員が入所できるよう、早急に整備を図られたい。

■印刷物の入札

印刷物の入札については、大企業と地元業者では落札の金額に大きな差があることから、地元業者が優先されるよう、入札条件を設けられたい。

■独居高齢者対策

独居高齢者対策については、シェアハウスの活用など、多様な要求に応えられる市営住宅の活用を検討されたい。

■少人数学級編制

少人数学級編制については、



放課後学童保育所で過ごす子供たち

市独自で5年生まで実施されることは大変評価できるが、さまざまな課題があることから、国や県としてさらなる推進をするよう、現場の実態を踏まえ、教育委員会からも強く訴えられたい。

■快適住マイル改修事業

快適住マイル改修事業については、市民や業者からも継続が望まれており、地域経済

の活性化に寄与することから、事業の継続を図られたい。

■企業誘致

企業誘致については、地域活性化センターと連携して企業間のマッチングに取り組まれたい。

また、PRパンフレットに市内企業の特徴や技術なども紹介し、一層の誘致活動に努められたい。